

句番	発句	付け句の数		第3句の数が第2句以上	連句の成長性	総句数（順位）	連句の引力	作例
		第2句	第3句					
76	地球とは ふんいきちがう ほかのほし	1	0			1		
77	みせをでて 夜空を見ると 星光る	1	0			1		
78	この想い 叶わないまま 終わるかな	11	12	○		23 (4位)		この想い 叶わないまま 終わるかな くぎりつけよう 君への想い 瑞(※) おれたちが 平成さいごの 卒業生 この想い 叶わないまま 終わるかな 応援するよ 諦めないで！ 北 目の中に 星のかがやき うつつてる
79	つゆの時期 晴れと雨がね 通じ合う	1	0					
80	世の中は 理不尽ばかりで なんでやねん	7	14	○		21 (5位)		世の中は 理不尽ばかりで なんでやねん なんでや？ なんでやねん！！ 瑞 外に出て はいた息が 白くなる 世の中は 理不尽ばかりで なんでやねん なななななな ななんでやねん 瑞 制服の スカート寒い 冬の朝
81	雲のない 海のような 青い空	4	2					
82	自分に言う 生きる理由を 考えろ！	8	9	○		17 (6位)		自分に言う 生きる理由を 考えろ！ 泣いてばかりでは いいことはない 北 どりよくして 練習すれば くいはない
83	夏祭り 夜空にうかぶ 花の色	6	6	○		12		夏祭り 夜空にうかぶ 花の色 輝き咲いて 心に残る 北 秋の日に 木の葉にうつる 冬げしき
84	夏星が キラキラ光って 呼びかける	1	0					
85	未完成 そんな僕らに 出来ること	14	16	○		30 (2位)		未完成 そんな僕らに 出来ること 小さなことでも 頑張りたい 瑞 俺達は あの震災を 乗り切った 未完成 そんな僕らに 出来ること 小さなことでも 頑張りたい 瑞 あと1点 勝つか負けるか 自分次第 未完成 そんな僕らに 出来ること ここから先も 跳んでいくこと 瑞 ぼくたちは 一人一人 輝ける

						未完成 そんな僕らに 出来ること なんでもちょうせん なんでもトライ！！ 瑞 家帰り ドットあふれる 疲労感
86	夕日見て 今日の日 思い出す	10	3		13	夕日見て 今日の日 思い出す あと何日 二組と過ごせる？ 瑞 好きだった 君の俳句も 聴き納め
87	午後の授業 夢の世界に 行ってきます	11	18	○	29 (3位)	午後の授業 夢の世界に 行ってきます 帰る頃には 終わりのチャイム 瑞 悲しいな 平成最後の 冬の空 午後の授業 夢の世界に 行ってきます 帰る頃には 終わりのチャイム 瑞 カシオペヤ 下校中に いつも会う 午後の授業 夢の世界に 行ってきます ただし長くは いられません 瑞 本番前 最後にみんなで気合い入れ
88	七年経ち 復興してきた 女川町	2	3		5	七年経ち 復興してきた 女川町 行ってみたいの あなたの町に 瑞 空見ると 皆の思いが 描かれる
89	3秒前 打てばよかった あのショット	7	2		9	3秒前 打てばよかった あのショット 悔いの残らない このショット 北 せまりくる 受験といった すごい気が
90	だれだろう ふとした瞬間 思い出す	2	0		2	
91	あなたにだけ 届いてほしい この想い	6	2		8	あなたにだけ 届いてほしい この想い 僕に届いた 君の想い 北 ありがとう 次はどんな句 来るのかな
92	風鈴の 音色を聞いてひと休み	6	3		9	
93	7年前 そのときじぶんは なにしてた？	1	2	○	3	
94	青ジャージ 染まる心は 何色だ	2	0		2	
95	帰り道 空を見上げて 願い事	10	3		13	帰り道 空を見上げて 願い事 きっと叶える あなたの願い 北 この町で 出会った友は 宝物 帰り道 空を見上げて 願い事 きっと叶える あなたの願い 北 またいつか 逢えると信じ あるいていく
96	「明日また」 街灯の下 手をふった	5	6	○	11	「明日また」 街灯の下 手をふった あなたの笑顔に 会えると信じて 北 十二月 明けの明星 見える鳥
97	楽勝だよと あなたに一言 伝えたい	3	0		3	

98	夜空見て ふと星さがす 曇り空	8	2		10	夜空見て ふと星さがす 曇り空 今は見えずとも いつかは見える 一歩積む 大きな一歩を 積んでいく	瑞
99	女川の 眺める景色 変わったな	2	0		2		
100	これからの 人生予報は 晴れがいい	23	22	○	45 (1位)	これからの 人生予報は 晴れがいい 雨がふっても みんながいるぜ 女川町 単独町制 守り抜き これからの 人生予報は 晴れがいい 雨がふっても みんながいるぜ 自分の句 見えない誰かとつながる喜び これからの 人生予報は 晴れがいい 晴れにするのは そう私 おさめたい 変わる女川 心の中 これからの 人生予報は 晴れがいい 君なら きっと晴れるはず 塾帰り 白いため息 初冬の夜	北 北 瑞 北

※ 北…北方中学校
瑞…瑞穂中学校

女川中の生徒が紡いだ発句

北方中もしくは瑞穂中の生徒が紡いだ第二句

女川中の生徒が紡いだ第三句

七年経ち 復興してきた 女川町
行ってみたいな あなたの町に
空見ると 皆の思いが 描かれる

これからの 人生予報は 晴れがいい
雨がふっても みんながいるぜ
女川町 単独町制 守り抜き

この想い 叶わないまま 終わるかな
くぎりつけよう 君への想い

3秒前 打てばよかった あのショット
悔いの残らない このショット
せまりくる 受験といった すごい気が

これからの 人生予報は 晴れがいい
雨がふっても みんながいるぜ
自分の句 見えない誰かとつながる喜び

おれたちが 平成さいごの 卒業生
俺達は あの震災を 乗り切った

あなたにだけ 届いてほしい この想い
僕に届いた 君の想い
ありがとう 次はどんな句 来るのかな

これからの 人生予報は 晴れがいい
晴れにするのは そう私
おさめたい 変わる女川 心の中

この想い 叶わないまま 終わるかな
応援するよ 諦めないで！

ありがとう 次はどんな句 来るのかな
帰rido 空を見上げて 願い事
きつと叶える あなたの願い

これからの 人生予報は 晴れがいい
君なら きつと晴れるはず
塾帰り 白いため息 初冬の夜

世の中は 理不尽ばかりで なんでやねん
なんでや？ なんでやねん！！

この町で 出会った友は 宝物
この町で 空を見上げて 願い事
きつと叶える あなたの願い

午後の授業 夢の世界に 行ってきます
帰る頃には 終わりのチャイム
カシオベヤ 下校中に いつも会う

外に出て はいた息が 白くなる
家帰り ドツとあふれる 疲労感

きつと叶える あなたの願い
またいつか 逢えると信じ あるいていく
「明日また」 街灯の下 手をふった

午後の授業 夢の世界に 行ってきます
帰る頃には 終わりのチャイム
カシオベヤ 下校中に いつも会う

世の中は 理不尽ばかりで なんでやねん
ななななななな なんてやねん

またいつか 逢えると信じ あるいていく
「明日また」 街灯の下 手をふった
あなたの笑顔に 会えると信じて

午後の授業 夢の世界に 行ってきます
帰る頃には 終わりのチャイム
カシオベヤ 下校中に いつも会う

自分に言う 生きる理由を 考えろ！
泣いてばかりでは いいことはない

十二月 明けの明星 見える鳥
夜空見て ふと星さがす 曇り空
今は見えずとも いつかは見える

未完成 そんな僕らに 出来ること
小さなことでも 頑張りたい
あと1点 勝つか負けるか 自分次第

どりよくして 練習すれば くいはない
悲しいな 平成最後の 冬の空

夜空見て ふと星さがす 曇り空
今は見えずとも いつかは見える
一歩積む 大きな一歩を 積んでいく

夏祭り 夜空にうかぶ 花の色
輝き咲いて 心に残る

午後の授業 夢の世界に 行ってきます
ただし長くは いられません
本番前 最後にみんなで 気合い入れ

秋の日に 木の葉にうつる 冬げしき
本番前 最後にみんなで 気合い入れ

午後の授業 夢の世界に 行ってきます
ただし長くは いられません
本番前 最後にみんなで 気合い入れ

女川の中学生が紡いだ五・七・五の言葉

平成三十年十二月の気持ちから

おれたちが	平成さいごの	卒業生	3
目の中に	星のかがやき	うつつてる	1
外に出て	はいた息が	白くなる	1
制服の	スカート寒い	冬の朝	1
どりよくして	練習すれば	くいはない	1
秋の日に	木の葉にうつる	冬げしき	1
俺達は	あの震災を	乗り切った	2
ぼくたちは	一人一人	輝ける	1
家帰り	ドツとあふれる	疲労感	2
好きだった	君の俳句も	聴き納め	3
悲しいな	平成最後の	冬の空	2
本番前	最後にみんなで	気合い入れ	2
空見ると	皆の思いが	描かれる	1
せまりくる	受験といった	すごい気が	3
ありがとう	次はどんな句	来るのかな	3
この町で	出会った友は	宝物	1
またいつか	逢えると信じ	あるいていく	3
十二月	明けの明星	見える鳥	3
一歩積む	大きな一歩を	積んでいく	3
女川町	単独町制	守り抜き	3
自分の句	見えない誰かと	つながる喜び	3
おさめたい	変わる女川	心の中	1
塾帰り	白いため息	初冬の夜	3
カシオペヤ	下校中に	いつも会う	2
あと1点	勝つか負けるか	自分次第	2

※下の数字は学年